

# 緑のボランティア通信

2011.8.1

No.15

## 花と緑のまちづくり講座

### 【緑化推進リーダー育成講座】受講生募集

川崎市公園緑地協会では、毎年地域の緑化推進リーダーの育成講座として「花と緑のまちづくり講座」を開催しています。受講生の皆さんはリーダーを目指して勉強し、修了後は地域の団体の中心となって活躍します。あなたもこの講座を受講し地域の花と緑を育てるリーダーになりませんか。

今年も8月から1月にかけて全6回の講座を開講します。ふるってご参加ください。

#### 講座の内容は

第1回目	川崎の花と緑を知る	8月27日	川崎市緑化センター
第2回目	花と緑の基本知識 ～緑ウォッチング	9月17日	川崎市緑化センター
第3回目	花と緑の活動を学ぶ	10月22日	川崎市緑化センター
第4回目	花と緑をデザインする	11月19日	会館とどろき
第5回目	まちの花と緑をつくる	12月17日	川崎市緑化センター
第6回目	花と緑のまちづくりを始める	1月28日	川崎市緑化センター

いずれも、土曜日。

講座の時間は午前10時～午後4時（昼休み1時間）です。



#### 花まち講座 Q&A

Q どんな人が対象ですか？  
募集人数と参加費は？

A 私の住むまちを「花と緑のまちづくり」で推進したいと考えている方で、市内在住、在勤、在学、全6回出席できる30名。無料です。

Q 庭いじりが好きです。応募  
できますか？

A 地域の緑化活動の核となるリーダーを育て・学ぶ講座です。園芸教室ではありませんが、これを機会に地域でまちづくりをしてみませんか。

Q 申込書はどこにありますか？

A 区役所、市民館、図書館等に 있습니다。必要事項を記入の上郵送または、FAXで8月10日までお願いします。



#### 目次

花と緑のまちづくり講座受講生募集	1
協会ニュース	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
ツリー・ウォッチング	4

## 実施報告 .....

### ◆ 花と緑の推進活動事業 夏花壇の植え替え

市内の緑化を効果的に進めるために市域を縦断する道路・鉄道等の軸線上に緑の拠点を整備し、市民や企業と協働で良好な緑の景観づくりを推進しています。6月12日～24日、東名川崎1C前や南武線久地駅前で、サルビア、マリーゴールド、ニチニチソウ等夏花壇用草花の植え替えを、地域の緑の活動団体や小学生、企業と行いました。水やりや花がら摘みの手入れが大変ですが、夏の日差しを浴びて大きく育ち、道行く人々の眼を楽しませてくれることでしょう。



### ◆ 「第7回 わがまち花と緑のコンクール」表彰式

6月25日(土)中原市民館多目的ホールで、団体部門4件、個人部門2件、連続努力賞3件の表彰が行われました。入賞者全員が出席し、建設緑政局長より賞状と副賞が授与されました。選考委員長の半田高明治(高治)大学農学部教授からは、「大変な震災がありました、それでも季節は巡り、今年も緑が芽吹き、花が咲きました。世の中を元気にしてくれる花と緑の力を信じ、皆様のさらなる活躍を期待します。」と講評をいただきました。引き続き荒井歩(あらい)東京農業大学地域環境科学部准教授の記念講演があり、最後に応募者には舞台を飾った花苗を配布し終了しました。

### ◆ さとやま研修会② 植樹後の整備 下草刈りとツル切り

平成21年3月に10万本植樹を行った高石特別緑地保全地区で、6月26日(日)研修会を開催しました。現場は、草やササが生い茂り、ツルが巻き付いて苗木を痛めていました。参加者、講師等含めて35人で約2時間作業しました。この作業は苗木が大きくなるまであと2～3年は毎年必要です。また、込み合ったところでは下枝処理と間引きも行き、苗木にしっかり日が当たるようにしました。



### ◆ チャレボラ2011 夏休みの中学生・高校生が緑のボランティアに挑戦!

社会福祉協議会や市民活動センターと共に、夏休み期間を活用し、次世代を担うこどもたちにボランティア体験学習の場を提供しました。「汗して守ろう、かわさきの緑」と題した協会提供のプログラムは、地域で緑の活動に取り組んでいるボランティア団体の協力を得て、腐葉土づくりや花壇の手入れ、森の整備やセミのぬけがら調査等4コース8日間設定され、定員を超える申込がありました。参加したこどもたちはもちろん、受け入れ団体にとっても、いつもと一味違った充実した夏の思い出となったことでしょう。

## 参加者募集 ! .....

### ◆ こども黄緑クラブ 夏編「樹液に集まる虫たち」

日時：8月21日(日) 会場：川崎市緑化センター 対象：小学3年生～中学生25人 参加費：無料  
申込方法：往復はがきに〒・住所・名前・電話番号・学校名・学年・保護者名を明記し、公園緑地協会内「こども黄緑クラブ夏」係まで 定員になり次第メ切ります。



### ◆ さとやま研修会③ 竹林整備

日時：9月4日(日) 会場：菅小谷緑の保全地域 対象：関心のある方。作業のできる小・中学生の同伴もOKです。参加費：無料 申込方法：往復はがきに〒・住所・名前・電話番号を明記し、公園緑地協会内「さとやま研修会③」係まで。

### ◆ 2011 花と緑の交流会 プレイベント「緑地ツアー」

日時：11月5日(土) 多摩区から麻生区にかけ地図を頼りに、緑地や公園を見つけながら歩きます。家族や、友達グループで参加を予定してください。詳細は次号でお知らせします。

## 久末緑地 まゆみの会 (2008年設立)

**活動場所** 久末緑地 (高津区久末306)  
**交通案内** 東急東横線・日吉駅より 高田町行バス  
「久末団地」下車徒歩3分

久末緑地は昭和51年「都市緑地保全法」の適用を受け川崎市の特別緑地保全地区の第1号として指定され、地域住民による保全活動がなされていましたが、いつの間にか放置されるままになっていました。平成19年9月、市が「緑地を再整備するワークショップを開催する」とのパンフレットを近隣に配布したことがきっかけとなり、同好の士が集まりこの会を立ち上げました。大きなマユミをシンボルツリーとして残したこともあり、会の名前にもしました。

現メンバーは高津区、中原区の方が主で活動内容は樹林、竹林の整備です。密集した樹木の適度な間伐と下枝落しで森の中に光が入るようになりツリフネソウ、ウラシマソウ等、植生が豊かになりました。竹林は範囲を決めて整備しています。また、散策路や階段の整備、植物の名札付け、斜面の土の流れ止め、粗朶垣で囲った落葉溜めなど、森の仕事の経験者や元学校の先生などのアドバイスを受けて和気あいあいの雰囲気の中で楽しんで活動しています。現在会員数28名、毎週土曜日9:30からの活動日には5~8名が参加しています。緑地周辺の道路からのごみの投げ捨てに困っており、「ごみを捨てないで！」の看板やごみ放棄防止に花壇設置等を検討しています。(山口泰弘)



## 清水町ガーデニングクラブ (2004年設立)

**活動場所** 清水町内 (高津区蟹ヶ谷辺り)  
**交通案内** JR南武線線「武蔵中原駅」より  
市営バス蟹ヶ谷行「鷹巣橋」下車徒歩3分

清水町は蟹ヶ谷の丘陵地にある約150世帯の町会です。町内の潤いの場であった大階段脇のちいさな森が2004年住宅地として開発されました。それを機に、少しでも心休まる場を作ろうと「清水町ガーデニングクラブ」を発足しました。

会員は15名ほどの小じんまりとした会です。階段脇の斜面を建設センターからお借りして紫陽花を中心に草花を植えています。周辺の空きスペースには鉢植えの花も並べ、今はお花の階段となって親しまれています。また、7月には斜面

に咲く山百合も楽しめます。

町内入り口の案内板周辺は、笹が生い茂っていましたが、一番目立つ所でもあるので笹を取り、ミニ花壇を作りました。その隣のマンションに沿ったフェンスにはツル性の花を這わせました。春一斉に咲き見ごたえがあります。昨年の「わがまち花と緑のコンクール」では花壇部門団体の部で「地域コミュニティ賞」をいただきました。清水町は公園のない町会なので、階段や空き地、小さなスペースをお借りしたり、プランターを配置して、皆で工夫しながら楽しく手入れをしています。(成田エツ子)



## シリーズ!! ツリー・ウォッチング



\*あなたもツリー・ウォッチングに出かけてみませんか？  
川崎市内の銘木・珍木・不思議な樹々たちの世界を紹介します。



### No. 3 メタセコイヤの美林

川崎にジュラシックパークがあったのをご存じですか？残念ながら恐竜こそ出てきませんが、“恐竜がいたとき”の雰囲気そのままの森が、生田緑地にあるのです。その樹々の名は、メタセコイヤ。“生きた化石”として、教科書で習った覚えのある人も多いはず。そう、化石でしか知られていなかった恐竜時代の失われた植物でしたが、戦時中の1945年に中国の揚子江の支流で発見されたのです。

その後、円錐形の樹形の美しさが認められ、公園樹として各地に植えられましたが、これほど多くのメタセコイヤが植えられ育っている所は、他ではちょっと観られませぬ。そして、その森を抜けると、“恐竜”の代わりに、“岡本太郎”のオブジェたちが現れますよ。



#### 生田緑地

住 所 多摩区枡形 7-1 辺り  
交通案内 小田急線「向ヶ丘遊園駅」より  
徒歩15分



### No. 4 タブノキ(千代ヶ丘のご長老様大たぶのき)



なんと樹齢800年以上！楠木正成が足利幕府に追われた、500年前には、すでにこの地に大木としてあったという記録があるそうですよ。大正時代には高さ30m以上もあり、森の様であった大木も、残念ながら戦時中に防空のため、幹の途中から伐採されてしまったとか。現在は、幹こそ中が空洞になっていますが、太い枝を再生させて、目通り（目の高さの幹の太さ）6.8m、樹高7mもあります。

取材したときも、幹にそっと手を置き、じっと目を閉じている人がいました。知る人ぞ知る生きたパワースポットなのです。周囲にこの樹の白く固いタネ（左）や、紫褐色の果実（右）が落ちていました。あなたも、パワーを分けてもらってみては？



#### 千代ヶ丘

住 所 麻生区千代ヶ丘 9丁目  
交通案内 小田急線「百合ヶ丘駅」より 徒歩15分

\*このコーナーでは、川崎市内の銘木・珍木・希少木の情報を募集します。あなたのご近所の“地名の由来にもなった銘木”や“巨樹”、“珍しい花が咲く木”“変わった風景の木”、“調べてほしい不思議な木”などの情報をお寄せください。取材して、このコーナーで紹介いたします。

発行・編集

(財)川崎市公園緑地協会 緑の活動支援課

〒211-0052 川崎市中原区等々力3-12  
電話 044(711)6631 FAX 044(744)8410